

地域包括医療病棟を支える多職種連携

—看護師・リハビリ・栄養士・MSWの役割—

地域包括医療病棟入院料は高齢者の人口増加に伴い、高齢者の救急搬送患者(軽症・中等症)が増加しているが急性期病院だけの対応は困難であるため、それらの患者を受け入れ、リハビリ・栄養管理・入退院支援在宅復帰等の機能を担う病棟を評価するために令和 6 年 6 月の診療報酬改定で新設されました。当院では令和 7 年 4 月より3東病棟でこの入院料を算定しております。多職種で定期的に会議を開催し、情報共有や意見交換を行い、入院後、早々から退院後の生活を見据えた支援に取り組むことによって早期退院と安心・安全な生活にももっていただけるように努めています。

特に中心的な役割を担う **看護師・理学療法士・管理栄養士**
MSW(医療ソーシャルワーカー)の取り組みをご紹介します。



看護師長 則定さん

入院中、寝たきりにならないように早期離床を促し、排泄などの日常生活動作を自分で行えるように援助しています。その一環として 8 月からは毎日、ラジオ体操を行っています。身体を動かすことにより患者さんの笑顔が増え「今日も頑張って体操するで！」と前向きな言葉が聞かれるようになりました。病気を治すだけでなく暮らしに戻る力を育む場所となれるように頑張ります。



理学療法士は、医師の指示に基づき病気や怪我、体力に合わせた運動を患者さんやご家族の思いにそって個別に計画を立てて実施します。退院後の生活が少しでも安心して送れるよう多職種と連携し、退院後の生活を見据えた動作指導や家屋環境への助言を行うことで、術後の不安を取り除き、安全な在宅生活への移行を力強くサポートします。



理学療法士 福富さん



管理栄養士 立田さん

在宅に向けての機能維持を目指し、GLIM 基準を用いた栄養評価と早期の食事介入を行い、低栄養の改善と予防に努めています。食欲がない患者さんには、個別に食事調整を行うことで、少しでも栄養を補えるように工夫をしています。飲み込む力が低下した患者さんやご家族には、エネルギーやたんぱく質がしっかり摂れる嚥下ゼリーや、手軽に作れる嚥下食のレシピのご紹介も行っています。

退院先に関する意向や退院に支障となることを確認するなど、入院時から退院支援を行っています。また、院内カンファレンスの他、地域支援者を含めたカンファレンス等での連携、制度・施設等の情報提供を行っています。地域支援者の方々からの生活状況に関する情報は大変ありがたいです。患者さんが早期にそれぞれの生活に戻るよう取り組んでいきます。



MSW 関岡さん

全国自治体病院学会にて

令和7年10月30日(木)～31日(金)に群馬県高崎市(Gメッセ群馬)で開催された全国自治体病院学会で医事企画課の石田主任が「**地域包括医療病棟入院料算定のための準備と課題**」という演題で発表しました。

この入院料は令和6年6月の診療報酬改定で新設されたものです。施設基準が厳しい事等から全国的にも算定している病院が少ないこともあり、当日は多くの方からの質問をお受けしました。



地域医療連携室よりお知らせ

11月より診療担当表が一部変更になってます！

患者さんの紹介いただく際は是非、**FAX事前予約**をご利用ください。患者さんの待ち時間が短くなり、受診の負担も軽くなります。

当日の診察希望・緊急の入院相談は**Dr to Dr**で直接連絡をお願いします。

電話 079-672-3999 (代)



朝来医療センタースタッフのなんでもリレーコラム

第19走者 管理課医事課 吉田 邦臣 さん

自然とふれあいデジタルテトックスへ

週末には子供たちと虫取りや魚釣りに出かけることがあります。自然の生き物とふれあう子供たちの目は、Youtubeやゲームに没頭している時と違い、とても生き生きとしています。気づけばわたしもスマホには見向きもせず、童心に返り子供以上に夢中になっています。



デジタル機器から離れ自然体験をすることで、五感を使い脳が刺激を受け、リフレッシュ効果などのよい影響があるそうです。スマホやゲーム依存が気になる方は、ぜひ外に出て自然の中で過ごす時間を作ってみてください。

次回走者はリハビリ科 福富さんです

第20号 大森先生のかように思う

～ 火曜・通う・歌謡・加養・可溶・花様 ～

それって本当？

同じ人で比較すると、太っている時は、テンションが下がり気味で周りに合わせようとしがちです。やせて細くなると、テンションは高くなり、自己主張がしやすくなります。服や車の色で見分けると、白は周囲に溶け込み、迎合する傾向があり、黒は緊張感も強くキリリと自己主張をしています。波長の長い赤色は男性ホルモンの分泌を促進し、波長の短い紫色は女性ホルモンの分泌を促すと言われています(これはかなり、眉唾物ですが)。自分自身や世の中に変化が起きると、1/3は良かったと思ひ、1/3は悪かったと思ひ、残りの1/3はどちらでもないと感じます。その後の結果は歴史が証明してくれます。



大森 和広 先生
毎週**火曜日**
認知症外来 (完全予約制)



Instagramは朝来医療センターの情報満載です！

行事食の紹介や研修の様子やイベント・スタッフの紹介、求人情報など発信しています！是非、いいねとフォローをお願いします！



④ 朝来市の事業所さんご紹介

JA たじま南但介護センター

JA たじま南但介護センターは、竹田城の麓にある旧 JA たじま竹田支店の建物を利用して運営しています。現在は2名のケアマネジャーで、朝来市だけでなく養父市の方の相談にも対応しています。「たじまに生きる たじまを活かす」という思いを大切に、年齢を重ねても住み慣れた地域で安心して過ごせるよう、お手伝いをしています。暮らしの中で心配なことや困りごとがあれば、どんなことでもお気軽にご相談ください。

住所: 朝来市和田山町栄町 25-1
電話: 079-674-0200



発行



公立豊岡病院組合立
朝来医療センター

地域医療連携室

TEL 079-670-3555(直通)

FAX 079-670-2223